

法政大学高等学校同窓会会報

本会は会員相互の親睦をはかり、互助の実をあげると共に、母校の発展に寄与することを目的とする。
(規約第2条)

発行人 大石勝康 (同窓会会長) 2007年(平成19年)4月25日(水) [発行] 第32号 (題字は森田勉校長)
編集人 斎藤利彦 (同窓会副会長) Tel. 0422-79-6233 Fax. 0422-79-6262
発行所 法政大学高等学校同窓会 〒181-0002東京都三鷹市牟礼4-3-1
印刷 社会福祉法人・東京コロニー 東京都大田福祉工場



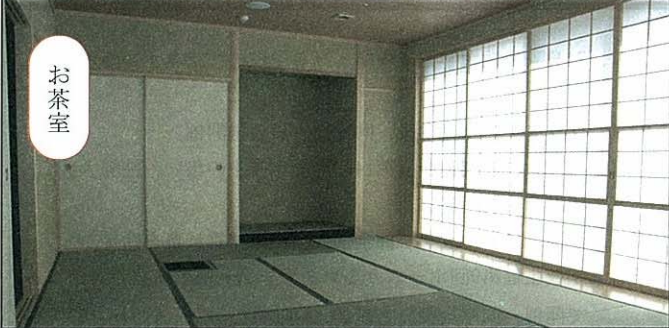
屋上庭園



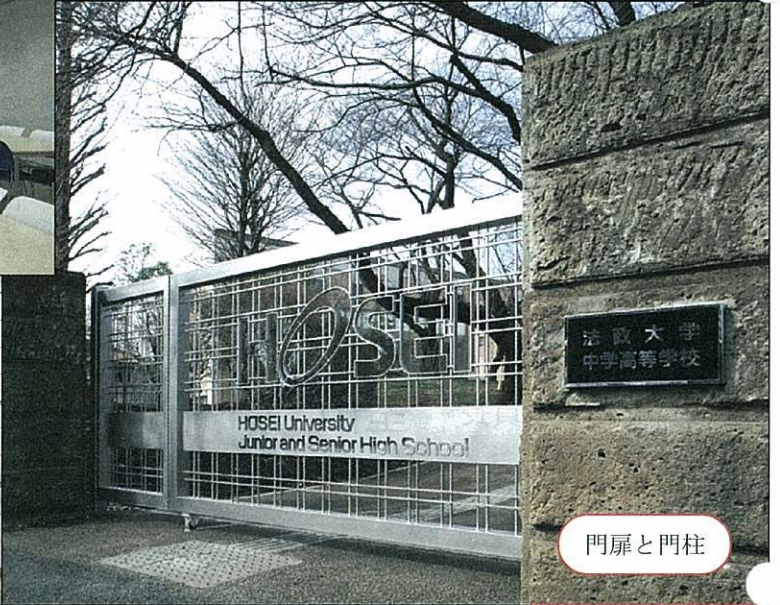
東側アプローチ



食堂



お茶室



門扉と門柱



フーコー振子

新年度を迎え同窓会会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。我が法政大学第一中・高等学校は今年四月、三鷹市牟礼の井の頭公園南の、新キャンパスへ全面移転することになりました。これを契機に法政大学付属校としては初の男女

新生「法政大学中学高等学校」
男女共学化でスタート
同窓会会長 大石勝康



共学校に生まれ変わり、校名も「法政大学中学高等学校」となり大きく飛躍を図ります。緑に恵まれた素晴らしい自然環境を活かした新校地で現代感覚あふれる校舎と最新の施設・設備の中で、ダイナミックな教育を実現できます。まさしく何もかもが新しくなり新たな学びがスタートします。新教育プログラムにおいても、中学3年・高校3年の「3・3」制から新プログラム「2・2・1・1」制を導入し、第一ステージ「2」(中一、中二)は基礎科目をしっかり学習、学力と人間力を身につける。第二ステージ「2」(中三、高一)は自分の適性を認識し、大学で学ぶことや将来の職業について理解を深め

る。第三ステージ「1」(高二)は自分の適性と学力を見据え、大学とその先における「なりたいたい自分」をイメージする。第四ステージ「1」(高三)は選択講座や各種プログラムに積極的に参加しイメージを実現に近づけてゆく。そして「なりたいたい自分」をプロデュースする。これにより、スムーズな大学教育への橋渡しが可能になります。

また、「市民に開かれた学園」としての機能も新しい試みです。正門近くの敷地内にコミュニケーション(地域開放型生活教育施設)を設置。大学の支援を受け、エクステンション・カレッジなどを開設し、市民に開放して、生徒と市民との交流を深める計画もあります。

法政大学校友連合会三鷹支部(竹内喜代司支部長)も二月十七日(土)に三鷹産業プラザで総会を開催、清原三鷹市長、清成三鷹ネットワーク大学理事長(前・法政大学総長)、永井法政大学常務理事、森田法政一中・高校長、岩部法政大学校友連合会会長のご臨席をいただき、六十余名の会員が出席、関幸子三鷹市図書

館長(法学部昭和五五年卒)の司会で盛大に行われ、三鷹市在住OB・OGの方々から、今回の移転に対し大変な祝福をいただき、今後三鷹支部からも大々的にご支援ご協力を戴けることができました。

なお、今回の移転に伴い同封の「創立七〇周年記念募金」をお願いいたしております。同窓会諸先輩の皆様の一層のご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

同窓会の今後の運営につきましては、地道に次の諸事項の遂行を図ってまいります。

一、組織の強化拡充(会員の掘り起こしと住所の解明)
 二、会費の徴収やご寄付による財務の安定化(会費お振込みの際五千円、壹万円のご寄付を頂き深謝申し上げます)
 三、同窓会会報の定期発刊と内容の充実(少人数の会合でも結構です、ご寄稿ください)

今後も同窓会の発展に努力を重ねてまいります。会員の皆様のご支援ご協力を心からお願ひ申し上げます。

平成19年度
 予算委員会開催

平成19年2月28日(水)

予算委員会が開催されました。当日は総務、広報、財務の各委員会より提出された支出予算(学校移転に関する事務用品等の増額、会報カラー頁化、学校新築落成祝い等)を細部に検討すると共に、18年度の繰越金がこの日の時点では未定の為、収入を18年度同金額に見込んで支出を最小限に抑え、最大の効果が出せるような予算案となりました。

収入の部で話題になっ

たのは既会員からの年会費の収入が少ない事です。会員の皆様におかれましては、会報が届きしだい会費の納入を宜しく御願ひ致します。

予算委員会出席者

大石会長

(総務) 佐藤副会長

室山委員長

(広報) 齊藤副会長

手塚委員長

(財務) 岩村副会長

樫原委員長

平成18年度事業報告書

総務委員長 室山 肇

(平成18年)

- 4月 1日 事務局に細川さん、田村さんが就任。
- 5日 春季都高校野球大会(あきるの市民球場)に同窓会役員が応援参加。
- 7日 法政大学第一中学・高等学校入学式式典に同窓会役員が参列。(中学校記念会館107名入学)(高等学校体育館251名入学内104名中学より進学)
- 22日 明治神宮球場の東京六大学野球で法政大学の応援に一中・高生及び同窓会役員が参加。法政大学平林総長による始球式が行われた。
- 24日 法政大学第一高等学校同窓会会報第31号を発行送付。
- 6月 7日 平成18年法政大学第一高等学校同窓会クラス委員総会を大学ポアソナードタワー26階A会議室で開催。(会議終了後懇親会を開催)
- 17日 法政大学校友連合会代表議員会議に大石会長、鈴木副会長、室山総務委員長が出席。
- 7月 9日、15日 夏季西東京高校野球大会に同窓会役員が応援参加。
- 27日 法政大学第二高等学校同窓会顧問「田島氏を偲ぶ会」に鈴木、佐藤副副会長が参加。

- 9月23日、24日 法政大学第一中学・高等学校のプラタナス祭が開催。
- 24日 プラタナス祭見学会、同窓会役員会議開催。
- 10月28日 法政大学校友連合会第14回全国卒業生の集い。沖縄大会に同窓会役員参加。
- 11月22日 一高アイスホッケー部全国大会出場に垂れ幕を贈呈。
- 25日 学校主催第9回ホームカミングデーが一中・高記念会館で開催。同窓会役員も参加。3期8期の5期毎区切りで53期までが出席。森田校長による「新たな学校を目指して」という講演、初音家左橋による落語の後、懇親会開催。

(平成19年)

- 1月20日 法政大学校友連合会主催「オール法政新春の集い」が帝国ホテルで開催され、同窓会役員が出席。
- 23日 法政大学第一高等学校同窓会役員による新年会開催。
- 2月24日 法政大学付属校同窓会役員懇親会が高輪プリンスホテルで開催、同窓会役員が出席。一高が幹事校。59名出席。
- 28日 一高新卒業者のクラス委員に同窓会の有り方、協力を説明。終了後、予算委員会開催。各担当役員が出席。
- 3月 1日 法政大学第一高等学校卒業式が体育館で挙行され同窓会役員が式典に参加。(卒業生 273名)
- 9日 法政大学第一中学校卒業式が記念会館で挙行され同窓会役員が式典に参加。(卒業生 110名)
- 22日 法政大学中学・高等学校新校舎部分竣工式開催。同窓会役員が参加。

いばる

校長 森田 勉



同窓生の皆様には、常日頃より、学校に対し多大なご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。いよいよ学校は新たなステージに入りました。すでにご承知のように、本校は今後の大いなる飛躍を期し、この四月から、三鷹市・井の頭公園近くに移転しました。そして、中高ともに女子生徒を迎え入れ、法政大学中学高等学校という名称でリスタート致しました。大きな改革が本格的に軌道に乗り始めたということもできます。このような大事業は、同窓会の先輩諸兄をはじめとし、生徒や父母、教職員、大学関係者、そして地域の住民の皆さん等々、本当に数え切れない多くの方々のおかげであると、衷心より感謝しております。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございます。

この大改革を皆様はどう受けとめていらっしゃるでしょうか。あまりの変化に戸惑いを隠せない方もいらっしゃるものと思います。しかし、時代は、私たちの予想を大きく越えて激しく、しかも物凄い速さで変化しております。前世紀の高度経済成長時代は終焉し、知識が最も重要な経済資源となる高度知識基盤社会が到来しました。大学は、良質な教育を学生に提供しないと、そして学生もしつかり勉強しないと、つぶれてしまう時代を迎えています。さらに、人口減少がこの状況に拍車をかけ、高校を卒業すればどこかの大学には必ずいける、いわゆる「大学全入時代」に入りました。かつての受験戦争時代には、死に物狂いで勉強しないと志望の大学へは入れませんでした。その時代状況では、系列大学に推薦入学できる「付属校」はそれだけで大きな存在価値をもっていました。しかし、もはやその時代は去りました。法政大学にしてもいろいろいな入試経路から優秀な生徒が第一志望で進学する時代を迎えています。ですから、「法政大学に推薦されればそれだけでいい」という付

属校は、すなわち数年前までの本校のままでは、付属校としての存続の危機が早晚やってくることになりま。ですから、本校にも、付属校としての新しい存在価値が求められているわけです。皆様の新しい学校は、法政大学の持つ人的資源をフルに活用し、大学卒業後の一〇年、二〇年先をにらんで、生徒が自ら、将来の健全な社会人としての自分をプロデュースしていくことを可能にする、そのための実力と自信を身につけさせることを最も重要視しております。

私は、伝統的な本校の精神(それは「法政魂」と言えるものですが)は、「既成概念にとらわれず、自分たちで常に新しいものを創造していく前向きな精神」であると考えています。換言すれば、既得権の確保や前例主義にこだわらず、みずから積極的に環境を変え、新たな経験を通して、自分の持つ潜在能力を意欲的に引き出し、柔軟に対応していく精神です。皆様から頂戴した、このすばらしい精神の上に立ち、本校が常に発展を続ける学校となるために、微力ながら全身全霊を持って尽力する所存でございますので、今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

法政一高同窓会 平成17年度収支決算書

法政一高同窓会 平成18年度予算書

法政一高同窓会 平成17年度収支決算書

法政一高同窓会 平成18年度収支予算書

科目		収入の部			18.6.7
		(単位)			(単位)
款	項	予算額	決算額	差異	備考
繰越金		4,621,042	4,621,042	0	
会費		5,800,000	5,772,630	27,370	
(イ)	入会金	1,890,000	2,009,000	△119,000	287名×7千円
(ロ)	新入会年会費	810,000	861,000	△51,000	287名×3千円
(ハ)	年会費・寄付	2,100,000	2,040,630	59,370	既会員616名より振込等
(ニ)	その他会費	1,000,000	862,000	138,000	付属校同窓会他同窓者より
雑収入		50,000	112,211	62,211	利息、名簿等売上
繰入金		50,000	0	50,000	
	繰入金	50,000	0	50,000	
計		10,521,042	10,505,883	15,159	
	今期収入		5,884,841		

科目		収入の部		18.6.7
		(単位)		(単位)
款	項	予算額	内訳	
繰越金		7,203,071		
会費		5,780,000	新入会員予定273名と既会員	
(イ)	入会金	1,911,000	新卒業生入会金 273名×7千円	
(ロ)	新入会年会費	819,000	新卒業生年会費 273名×3千円	
(ハ)	年会費・寄付	2,100,000	既会員より 8700名×3千円	
(ニ)	その他会費	950,000	幹事会費150千円、クラス委員会150千円、年祝費懇話会650千円	
雑収入		50,000	預金利息、テレカ、名簿等売上	
繰入金		50,000		
	繰入金	50,000		
計		13,083,071		
	經常収入		5,880,000	

科目		支出の部			(単位)
		(単位)			
款	項	予算額	決算額	差異	備考
経常費		2,120,000	1,820,312	299,688	
(イ)	学校協力費	900,000	468,655	431,345	ホームカミング、卒業記念品代
(ロ)	会議費	200,000	99,147	100,853	会報編集会議、新委員会等
(ハ)	組織活動費	500,000	784,000	△284,000	同窓校同窓会懇話会参加費
(ニ)	印刷費	20,000	0	20,000	学校のコピー一括用
(ホ)	通信費	50,000	19,320	30,680	請求送付
(ヘ)	人件費	300,000	287,500	12,500	事務局員手当(年額)
(ト)	事務用品費	100,000	21,470	78,530	名簿台帳、宛名ラベル等
(チ)	雑費	50,000	140,220	△90,220	香典、帯巻、出張交通費等
事業費		2,700,000	969,900	1,730,100	
(イ)	会報発行費	1,700,000	0	1,700,000	会報30号以降発行済み
(ロ)	懇会・委員会費	1,000,000	969,900	30,100	17年度懇会費
積立金		500,000	500,000	0	
	名簿作成積立金	500,000	500,000	0	
予備費		50,000	12,600	37,400	
	予備費	50,000	12,600	37,400	
小計		5,370,000	3,302,812	2,067,188	
次年度繰越金		5,151,042	7,203,071	△2,052,029	
合計		10,521,042	10,505,883	15,159	
	今期支出		3,302,812		

科目		支出の部		(単位)
		(単位)		
款	項	予算額	内訳	
経常費		2,150,000		
(イ)	学校協力費	480,000	新校舎金庫、学校主催行事、生業生活動費、卒業生記念品、奨学金等	
(ロ)	会議費	200,000	役員会、各委員会、名簿編集等	
(ハ)	組織活動費	800,000	既会員年会費(30万円)、付属校同窓会、同窓会参加費等	
(ニ)	印刷費	20,000	決算、予算、一般会議資料の印刷費	
(ホ)	通信費	50,000	会議開催通知、資料送付等	
(ヘ)	人件費	300,000	事務局員手当	
(ト)	事務用品費	100,000	P C等諸事務用品	
(チ)	雑費	200,000	慶弔費、振込手数料、打合せ食事等	
事業費		3,100,000		
(イ)	会報発行費	1,850,000	表紙カラー化のため+150千円	
(ロ)	懇会・委員会費	950,000	幹事会費150千円、クラス委員会150千円、付属校懇話会650千円	
(ハ)	寄付金	300,000	学校へ新築落成記念品贈呈	
積立金		500,000		
	名簿作成積立金	500,000	2期6年毎に改訂版作成の積立	
予備費		50,000		
	予備費	50,000		
小計		5,800,000	(内、500千円は積立金)	
次年度繰越金		7,283,071		
合計		13,083,071		
	經常支出		5,800,000	

HOSEI だより

中・高・校内情報

陸上部

短距離は勿論、中距離・長距離の選手も駆伝に参加するなど頑張っています。また、フィールド競技の選手もおり、小規模な部ながら、陸上らしく多種多様な顔ぶれの部です。普段の練習は基本的に上級生が考えたメニューをもとに、個人が自分用にアレンジしておこなっているのは、従来通りです。

しかし、一昨年から夏合宿に限り、大学のご厚意で、法政大学一部陸上部出身の大槻雄太選手にコーチとしてきていただきました。日頃にかける練習方法を指

導していただいた結果、いくつか部門で、秋の都大会に出場、うちハイジャンプと110ハードルの2部門では都大会ファイナルまで出場するなど、成果ができました。

学校自体が大きく変わり、生徒のタイプも変わる中、正直に言えば、何もかも昔のままの方法でやることは難しくなっています。

しかし、自分の目的のために、自分に必要なことを自分が考え、それを実践する。という従来の精神は残したいと考えています。また、個人競技だからこそ、全体でお互いを支え合う気風も本校の陸上部の精神として大切にしたいと考えています。

OBの方には今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

(顧問 堀江 美代)

高校サッカー部

一昨年度は久しぶりに夏の大会で都大会に進出しましたが、昨年は地区三回戦で敗退、現在も、夏の大会での都大会進出を目指して練習に励んでいます。夏休みまでは吉祥寺校舎の南庭、

グラウンドが使用できませんが、秋以降は新校舎で練習です。緑が多く、勉強には最適ですが、自由に使っていた



駒沢補助競技場での現役チームとのOB戦、そして終了後の懇親会まで定期的に活動をしています。多くのOBの皆様にはぜひ来ていただき、現時と変わらぬ？華麗なプレー？を現役選手たちに披露していただきたいと思います。

なお、今年度から顧問に体育科の川上先生を迎え、杉浦と二名の体制で部活を運営することになりました。

南庭のようなスペースがないため、以前より厳しい環境になるでしょう。また、以前は一学年三十名以上の部員は当たり前でしたが、現在は高三が十六名、高二が十一名。男女共学になりました。男女人数が少なくなってしまうのではないかと心配しています。

一方OB会はますます盛んで、昨年度は吉祥寺校舎の南庭でのサッカー大会、

をよろしくお願いいたします。

(顧問 杉浦 裕也)

写真部

昨年度、1年生1名、2年生1名でスタートした活動でしたが、1学期の間に2年生部員が2名、2学期を過ぎて新たに2名の2年生が入部し、少しずつ活性化しつつあります。

写真部の活動はその年の部員の意向によって変わります。昨年度の部員は、物作り志向の生徒の方が多かったため、芸術作品としての写真を撮影するというよりも、物を作る、という観点からの活動となりました。

夏休みには図書室でピンホールカメラの作り方を調べてきて、段ボールを使ってピンホールカメラを作り、実際に写真を撮りました。光の強さや被写体との距離、露出時間などを記録しながら、試行錯誤を重ねていま



した。2学期の文化祭ではピンホールカメラの実演のほか、個人の作品を展示しました。文化祭時期と同時並行で新校舎工事の進捗

状況を学校のホームページに掲載するために、工事現場に入れていただき、工事の状況について説明を受けたり、撮影可能な場所を撮影させていただくなどの活動をしました。

昨年度はコンクール等への応募は「川の写真コンクール」に出展したにとどまりましたが、今年度は芸術作品としての写真撮影やその種のコンクールへの出展も視野に入れた活動を展開していければ、と思っ

バスケットボール部

2007年度の部員数は、高校では3年生が9名、2年生が4名、中学では、3年生が12名、2年生が15名となっています。ここ数年、中学、高校ともに学年によって部員数が多かったり、少なかったりという状況です。

高校では、新人戦本大会出場、春、夏の大会では、ベスト32を目標に、中学では、都大会出場を目標に、日々の練習に励んでいます。高校は、2004年度の

新人戦支部大会では第4支部でベスト4となり、9年ぶりに本大会に出場しました(ベスト4は15年ぶりでした)。そして、2005年度の夏の大会(インターハイ予選)では、ベスト32になりました。

このような成果がえられたのも、藤山弘幸(99年3月卒業)、塩田敦士(97年3月卒業)、山野井健介(99年3月卒業)、堂垣友宣(03年3月卒業)らの卒業生が、これまでコーチとして後輩たちの指導をしてきてきたことや、大学生を中心に卒業生が普段の練習や合宿によく来て、現役部員たちの練習相手をして

これからの、卒業生の皆様のなお一層のご支援を賜りたいと存じます。

(顧問 豊田 雄大)

軟式野球部

高校軟式野球部は現在最後の年に入っております。と言いますのも、移転に伴って廃部が決定し、新三年生の引退をもってその活動を終えることになっているからです。限られた環境の中で日々活動をし、できる限り廃部の日を先延ばしにしようとしております。

新人戦である秋季大会は、エースを温存してきた東海

大菅生に対し、先発投手を打ち崩して、そのまま逃げ切ることで見事勝利を収めました。しかし、続く創価戦では敗れ、残念ながら都大会出場はなりませんでした。本支部は他に早実、日大三なども属する、「死のグループ」でして、春季大会もこの支部予選から始まりますので、厳しい戦いが予想されます。

ここ数年は野球経験のない顧問の下、十分な指導を受けられない中、それぞれの部員が中学までの経験を活かして、自主的に練習を行っております。移転後もさらに活動が制限されますが、残り約四ヶ月、一生懸命練習をして、最後の夏の大会で素晴らしい成績を残してほしいと願っております。

(顧問 小林 素衛
・山田 耕太)

三六会 同期会

田代 博泰

私達は、昭和四十年(東京オリンピックの翌年)に高校を卒業しました。卒業の時三年六組だったので三六会(サボロウカイ)という名前をつけました。

そして今年(平成十八年)我々は還暦を迎えました。担任の坂本先生も、喜寿を迎えられ、目出度いことが重なるというところに幹事が気付き、急遽同期会をやるうというので、十二月八日に集まりをもちました。



年末のことで、仕事が忙しかったり、風邪を引いたり、入院したりで、集まったのは十三人でしたが、四十年振りに出てくれた級友もいました。色々な思い出話に三時間が、あつという間の楽しい集いでした。先ず、亡くなった六人の級友の冥福を祈り黙祷、その後は修学旅行の裏話などに花を咲かせました。来年から毎年一泊旅行をすることを決め、母校の隆盛と皆の健勝を祈って、手締めをし、会を終えました。

法政一高の最後の年におさわしい集まりだったと思

います。学校が三鷹市に移っても、今までと変わることなく、限らない発展をされることを祈念いたします。

シリーズ 活躍するOB [8] 修善寺・柳生の庄 土屋征夫さん

部に在籍し、昭和43年・大将として関東実業団大会優勝、昭和47年・日通を退職後、「柳生の庄・専務」となり、昭和60年代に少年指導員会長をされ、平成5年10月、保護司となられた先輩であります。

現在は旅館の経営の一線から退いておられますが、法政大学・三島地区副会長、大仁地区保護司会会長・大仁警察少年警察・少年指導委員会会長等々、ボランティア活動に多忙な日々を送られておられます。

旅館の道路を挟んだ向かい側には、会議室として使うこともあるそうです。が、立派な剣道場があり、

「現役の剣道士」でもあります。保護司とは法務省管轄の犯罪や非行に陥った人の更生を支援する非常勤の国家公務員でもあります。が、ボランティア活動でもありま

法政一高・剣道部の北軽井沢合宿、法政大学剣道部、日通剣道部、旅館経営、保護司として活動され接してきた子供たちの更生していく姿・・・。どのお話も淡々と語られるのですが、どのお話も「熱い心」が伝わってきます。

「剣道によって培われた精神、また法政の流れた旅館経営・その根底には故滝口教諭の教えがある」と語られました。

修善寺温泉という静かな場所へ癒され、日々の生活の中で忘れていた一本の筋の通った「熱い心」を土屋先輩から教えていただきました。

(高37期 萩原 光博)



同じことと 違うこと

副校長 吉川 司



「人は同じ川に二度足を浸すことはできない。」という箴言がある。留まることを知らない川の水は浸した足を漱ぎ、下流へと流れ去る。ゆく川の流れば絶えずしてしかも水にあらざる。水の流れる如く万物は流転して止まることがない。

同時に、足を漬けている当人も昨日の自分と今日の自分は多少なりとも違っている。脳医学者の言によると、神経系の単位細胞であるニューロンは全身に約一〇〇億ほどあり、日々少しずつ減っているのだそうである。仏教思想にも万物は一刹那ごとに滅びそして生じるといふ、いわゆる「刹那滅」という考え方があることを耳にしたことがある。そこまで考えないにしても今日の自分は昨日の

自分より一日の長、少なくとも馬齢上の長がある。つまり、一日の歴史を加えて変化をしている。

ところが、一日単位の変化となると日常的には実感せずに「同じ自分」という意識で生活をしているものだ。また、刻々と移ろい変化している一日も同じ日として受けとめている。

しかし、この自分は引き続いて同じ自分であるにもかかわらず、実際には外部とも交流しながら新陳代謝をしていつの間にか入れ替わるサイクルに組み込まれている。次代に遺伝子を残すのも同じシステムであり、まさに刹那滅である。

七十年の歴史と伝統を持つ本校も常に新陳代謝を繰り返しながら、二〇〇七年に大きな変化をさせるに至った。一九三六年に時かれた小さな種がさまざまな手にかけてもらって亭々たる大樹に育ち、三鷹の地に移植された。流転やむことない万物からなるこの世界にあつて変わらぬに変わってきた。否、変わらぬに生き残るためにも、変わらねばならなかった。とりわけ、ここ数年は意識して変革させる努力をし

てきたといえる。文字通り皮革を自ら剥ぐ思いをすることもあつたし、これからもその必要があるであろう。この厳しさを心から支えてくれたのは眼前の生徒であり、保護者であり、そして二万三千人を越える同窓生の方々の大きな力と声援である。深く感佩を申し述べさせて頂きたいと思う。

未来に向けた教育活動を夢と希望を持つて確実に展開する責任の大きさを今更ながら感じてゐる。新生「法政大学中学高等学校」は大きく飛躍するためにこれからも変化し続ける決意を内外に示しているが、同時に教育には変わらぬ礎となるものもある。「学びを通して希望をともに語り、誠実を胸に刻むこと」である。

何年かすると同窓会にも女性が増え、益々活気が漲ることであろう。「花と、面白きと、めづらしきと、これ三つは同じ心なり。」(『風姿花伝』)という澁刺たる様子が目に浮かんでくる。これからも同じことと違うことが表裏一体になつて新しい時代の幕開けとなつてゆく。

昭和80年！戦後60年！喜寿77歳！ 2005年人生の節目に憶いを起こす 戦時下の4年間を歩んだ旧制中学生の記録

第三回

旧中6・3
吉田 昭典 記

時々工場でにぎり飯の配給があつたが、麦飯にコーリヤン(高麗米の事らしい)を混ぜたもので、美味しいとは思はなかつたが、食料不足と食べ盛りの我々は美味しそうにほお張つて食べた。

空襲警報は、毎日のように鳴つたが皆空襲に慣れて、爆撃機B29を眺める様になつた。

こんな最中女子学生との交流があちこちで始まり、明日の命も分からぬ者同士が、一時の若きロマンを楽しんでいた。

そして昭和20年3月10日、東京が上空襲に襲われ下町一帯は火の海と化した。その時、目黒から遥か下町方面の夜空一帯が真っ赤に染まっているのが見えた。翌朝、動員先の錦糸町駅に着いて見ると、街は跡形もなく焼け野原となつていた。集合場所の錦糸公園に来て一歩足を踏み入れ

てみると、焼死体が山のように積まれていた。地獄を見ような凄まじい光景だつた。こんな状態の中でこの工場で1年を過ごしてしまつた。

そんな時、我々4年生は



昭和19年 富士 ラッパ隊 中学3年

3月10日のあの上空襲から10日余り経つた3月20日、西東京山の手方面に前回にも匹敵する大編隊のB29が襲来、遙か西の空から雨あられの如く降り注ぐ焼夷弾。夜空を照らしながら風に乗つて次第に山の手方面に向かつて来る。そして各民家の屋根に次々と着弾、

練り上げ卒業が決まり5年生と一緒に昭和20年3月に卒業する事になった。その為我々の進路を決める選考が始まった。各々が希望先を申請する事になったが予科進学には人数に制限があり、専門部とに分けられた。私は専門部の方に割り振られた。予科進学が叶わなかつた者の中には、他の大学に移つた者もかなりいた。私も他の大学を受験し合格したが、そのまま専門部に進学した。

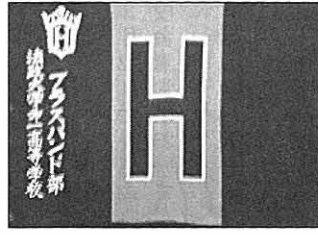
完

ブラスバンド会

演奏会

平成19年3月18日に法政大学第一中・高等学校創立70周年記念のブラスバンド会第40回定期演奏会が、記念会館2階ホールで行われました。

顧問の末益先生、常任指揮者の小林先生、そして中村先生等のご指導のため、の見事な演奏会が開催されました。一部では現役生のステージ、二部ではOBのみのステージ、最後はパ



イプオルガンのV・Cセア先生も加わり全員での「威風堂々」。昨年のコンクールで銀賞を受賞した腕前はアンコールまでの全ての曲の演奏で遺憾なく発揮されました。

演奏会終了後にOB会総会、その後懇親会が開かれました。総会では会長以下新役員が承認され新しい活動が始まりました。なんと

ブラスバンド会を創設された第一期の有本先輩がおいでになり、懇親会では当時の話や現役生への励ましなど、大変な盛り上がりでした。来年度からは女子の参加も見込め、新しい講堂での演奏会を目指してさらなる練習に励みます。OBの見学、参加を御願いたします。

(高19期 今泉 直樹)

2006年度法政大学 第一高等学校 卒業生進路結果

法政大学への推薦入学

法学法律	二拾貳
政治	八
国際政治	九
法学部計	三拾九
文学部計	参
文学哲	五
日文	五
英文	五
史	壹
地理	四
心理	四
文学部計	二拾貳
経済経済	二拾壹
国際経済	六
現代ビジネス	七
経済学部計	三拾四
社会社会政策	七
社会	拾七
メディア社会	拾壹
社会学部計	三拾五

経営戦略

拾五

拾四

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

拾

第九回ホームカミングデーと中高の現況報告

古家 敏亮

二〇〇六年十一月二十五日(土)、第九回ホームカミングデーを開催いたしました。今回は下一桁に3および8のつく卒業期の同窓生のみならず、ならばに旧教職員のみならずをお招きいたしました。

現校地での最後のホームカミングデーということもあり、大勢の同窓生のみならずが参加され、現役教職員を含め一六〇名を超える、大盛況の会となりました。

記念会館ホールにて行われた第一部の式典では、学校説明会でも使用している、新しく編集した新校地・施設イメージビデオを上映した後、森田勉学校長による挨拶、そしてOBでもいらつしやる落語家・真打の初音屋左橋師匠をお招きし、落語という形で記念講演をお願いたしました。世相の風刺を含んだなめらかな語り口、会場は和やかな笑いに包まれました。

そして第二部は、一階の

会議室に場所を移し、パーティーを行いました。山口清貴入試・進路部長の乾杯の発声の後、お互いに旧交を温め合い、懐かしさと寂しさと喜びの入り交じった楽しいひとときを過ごしました。

最後に、元法政一高応援団団長の塩入成実氏のおかげ声に合わせて校歌を斉唱して締めくくりました。

さて、一中高の現況ですが、何と言っても、本校にとっては初めての女子の受験生を迎え入れた入試があげられます。

中学では、四科による三回の入学試験、高校では、英・数の適性検査を課した推薦入試の復活と、コース制を廃した一般入試を実施いたしました。

中学では総勢一四〇〇名を超える受験生が集まり、二二三名の合格者を、高校では九〇〇名を超える受験生が集まり、三一五名の合格者を出しました。

男女ともに優秀で積極的な受験生が集まってくれ、本校に寄せられている期待の大きさを実感させられました。共学一学期生としての活躍に、大いに期待したいと思えます。

教職員人事異動

専任教員退職者

菅原 泉先生 (英語科)

中村 努先生 (数学科)

上原伸一先生 (社会科)

斉藤 隆先生 (芸術科・美術)

神田研二先生 (体育科)

安藤博樹先生 (英語科)

中島宏子先生 (英語科)

専任教員新任者

藤山弘幸先生 (数学科)

富田道子先生 (家庭科)

川上辰五郎先生 (体育科)

山下純子先生 (体育科)

松崎彩子先生 (体育科)

佐々木常昭先生 (芸術科・美術)

松村香奈先生 (英語科)

松田正宏先生 (英語科)

篠崎裕子先生 (英語科)

伊藤文郎先生 (英語科)

平田克至先生 (英語科)

藤原昭子先生 (養護)

専任職員異動

鈴木信一事務長

学務学部事務課デザ

イン工学部担当へ転出

貝塚一郎主任(総務)

本校事務長へ就任

山田建志さん(総務)

本校事務室主任に着任



校歌のエール

3月22日に表記式典が新校舎講堂において、盛大に行なわれました。平林法政大学総長の式辞に始まり、式は大学関係者、中学高校関係者、建設工事関係者、近隣住民、本学PTA、三鷹市長、同窓会役員等多数が参加しました。

法政大学 中学高等学校 部分竣工式



平林総長式辞



森田校長式辞

4月6日に行なわれた入学式に大石会長以下、同窓会役員が参列しました。式典は、森田校長先生の式辞に始まり、校歌の演奏まで厳かな雰囲気の中で執り行われました。その後記念写真撮影が行われ、新入学の男子、女子の姿がみずみずしく映りました。

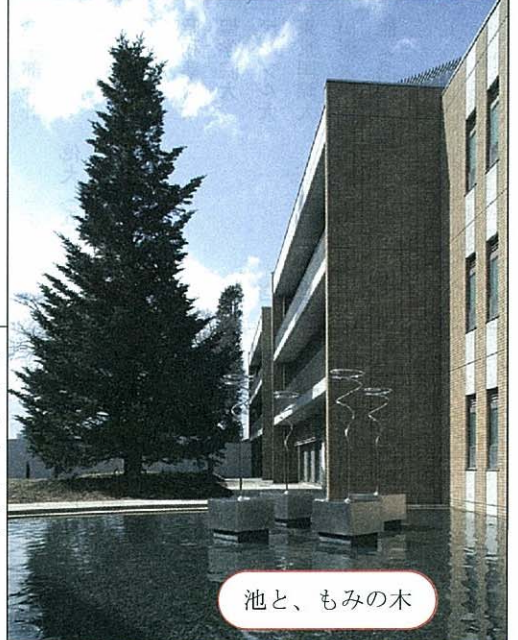
法政大学 中学高等学校 入学式



高校入学式

二〇〇七年三月一日に最後の高校卒業生を、同九日に最後の中学卒業生を送り出し、創立七十周年を迎えた法政大学第一中・高等学校はその幕を閉じました。そして、長年住み慣れた吉祥寺から、三鷹市牟礼地区の東京女子大キャンパス跡地に移転し、「法政大学中学高等学校」として生まれ変わり、男女共学校として新しい一歩を踏み出しました。四月六日には、法政大学外濠校舎薩埵ホールで「法政大学中学高等学校」として初めての入学式を行い、一三九名の中学一年生(男子七四名、女子

新しい 歴史の扉が開く 法政大学 中学高等学校開校



池と、もみの木

六五名)、二三五名の高校一年生(男子一七〇名、女子六五名)を迎え入れました。まだ着慣れない新しい制服の初々しさに、新しい学校の未来が投影しているようでした。これまで、法政大学第一中・高等学校は、多くの同窓生のみならず、支えられ、発展して参りました。「法政大学第一中・高等学校」という名前はなく、長年培われた良き伝統とその精神は、新しい学校になっても脈々と受け継がれていくものであります。どうか、「法政大学中学高等学校」に対しても、同窓生のみならず、愛情とご支援をよろしくお願い申し上げます。

企画推進本部

古家 敏亮

HOSEI

同窓会クラス委員総会開催のお知らせ
平成十九年度のクラス委員総会を左記のように開催いたします。是非、出席をお願い致します。

- 日時 平成十九年六月四日(月曜日) 午後六時開会
- 場所 法政大学市ヶ谷校舎ポアソナードタワー 二十六階A会議室
- 会費 参千円(当日受付・軽食用意します)
- ◎高校卒業後、四年以内のクラス委員は無料

- 議題
- 平成十八年度事業報告
- 平成十八年度決算案の件
- 平成十九年度事業計画
- 平成十九年度予算案の件
- その他

◎委員の方は、出・欠を同封のハガキにて、五月二十一日(月曜日)必着にてご投函願います。

編集後記

新校舎の部分竣工式に参加しました。玉川上水と周辺緑地がある、すばらしい環境の校地は一九五四年にカナダ人宣教師A・Rストーン氏が東京神学大学に寄贈した門柱が残り、東京女子大学を経て法政中高に引き継がれました。編集には学校・諸先輩方の御協力をいただきました。会員各位からの益々のご支援を御願いたします。

広報委員長代行 高19期 今泉 直樹

- 同窓会(第五九期) クラス委員一覧
- 1組 古島 裕太
- 2組 ◎ 池ノ上 遼
- ◎ 野村 俊介
- 岩村 健太
- 滝本 裕憲
- 3組 乾 良太
- 楠原 光弥
- 4組 佐野亜久里
- 関口 雅希
- 5組 種田 憲人
- 二瓶 義生
- 6組 関谷 俊彦
- 東中 遥

◎は学年代表